



Happy
New Year

新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年の第45回衆議院議員選挙において戦後初めて本格的な政権交代が起きました。

茨城県医師会は一昨年の4月に後期高齢者医療制度撤廃の署名運動を行い皆様のご協力のおかげで20万人を超える署名が集まり舛添大臣あてに提出することが出来ました。誠にありがとうございました。

7月には衆議院選挙の立候補予定者全員にアンケート調査を行い、後期高齢者医療制度撤廃に賛成する候補者を推薦しました。結果として茨城県の7選挙区全てで民主党候補者を推薦することになり、皆様のご支援のおかげで全員当選を果たすことができました。私達の茨城4区でも高野守さんが当選しましたので医療・介護・福祉問題に活躍してくれるものと期待しています。

民主党のマニフェストでは後期高齢者医療制度廃止、社会保障費2200億円削減の撤廃、診療報酬のアップ、療養病床の確保などがうたわれましたがどうも雲行きが怪しくなっています。

特に昨年11月に行われた事業仕分けは小泉劇場型政治を思い起こさせるものでした。現場の実情を知らない仕分け人が水戸黄門よろしく悪代官をやっつけるような芝居を見せられました。これでは自民党時代となんら変わらない財務省主導の医療費削減策です。小泉政権以来の市場原理主義が医療崩壊を引き起こし、相対的貧困率は先進諸国の中で4番目に高く、七人に一人が貧困層に入っています。おかし、一億総中流と格差のない社会を謳歌した日本が今やまさに格差社会になってしまいました。保険料が納められないために具合が悪くても医療機関を受診できない子ども達が増えています。私たちはこのような状況をチェンジしてくれることを期待して民主党を支持しました。

しかし、現在民主党の医療政策を担当している人たちは、公的病院至上主義ともいべき考えの人たちが中心です。診療所なんか無くなっていいと公言する人さえいます。公的病院が日本の医療の中心を担っているのはもちろんのことですが公的病院だけでは地域医療は守れません。新型インフルエンザが爆発的に流行しましたが、予防接種は多くの診療所の医師が行いました。医師会が協力している休日診療所や、夜間診療所にも多くの患者さんが受診しました。夜中の12時、1時まで診療した日もあったようです。もし、診療所が無くなってしまったらパニックになってしまうでしょう。

余りにも極端な考えは世界保健機構が世界一と認めている日本の医療制度を本当に崩壊させてしまうでしょう。

国民の健康と生命を守るためには、公的医療機関と民間医療機関、勤務医と開業医がバランス良く連携することが大事です。

勤務医の負担を軽減するためにも開業医を上手に使って頂ければ大変ありがたいと思います。

政府が国民の健康と生命を守るための政策を実行することを皆様とともに要望していきたいと思っています。

今年が皆様にとって良い年であることを祈念致します。



理事長：小松 満

新年のご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。

去年は皆様にとってどんな1年だったでしょうか？引き続き経済状況は厳しく、新型インフルエンザが猛威をふるい犠牲者もでて暗い話題ばかりでした。ただそのなかで、民主党に政権が替わり政界激変の年でもありました。期待することはたくさんありますが、多くは望めそうにありません。悪法の後期高齢者医療制度はなくなりそうで少しほっとしました。

しかしながら、財政難のため医療費の大幅な増額はむずかしそうです（10年ぶりにわずかながら増額されそうですが）。不思議なことに、先進7カ国で日本が最低の医療費なのにマスコミは一切このことに触れません。イギリスが先進国で最低の医療費の時は本当に悲惨な状況で、ガンと診断されてから手術を受けられるまで1年以上待たされ、その間に亡くなってしまった人が続出したのです。このためイギリス政府は医療費を1.5倍に増額し、悲惨な状況を脱したのです。日本はこのイギリスよりも低い医療費でやくりいしているのです。現在先進国の中で最低の医療費です。当然満足な医療が受けられる訳がありません。

皆様は実感していないと思いますが、日本の医療はすでに崩壊しています。身近な例を挙げますと、日立市は日立総合病院から産婦人科が完全に撤退したために、日立市内に産婦人科は開業の医院1軒しかなくなりました。普通の出産ですら、日立市内で対応できなくなっています。問題のある出産はひたちなか市と水戸市内の病院で引き受けて何とかやくりいしていますが、先日水戸市内でも受け入れ不能な状況となり筑波大学附属病院に搬送されたそうです。これは異常な事態です。これで筑波大学が対応不能となれば、次は東京都内に受け入れ先を捜すような事態になるのでしょうか。ぞっとします。茨城県は、すでに地域でお産が安心して受けられない状態になってしまっているのです。外科医も年々減少し、日本も外科手術が安全に受けられない事態にないかねません。だいたい皆様が病院で大変長く待たされるのも、病院や医師・医療スタッフが足りないからです。茨城県の単位面積当たりの医師数は、日本で下から一番です。

医療費が増額され安心して医療が受けられる社会になることを切に願いますが、愚痴ばかり言っている訳にはいきません。私どもにできることは、当院を受診して下さった皆様が、元の生活・これまでのお仕事・怪我する前までの運動能力を取り戻すことができるように、可能な限りお手伝いをすることです。

本年も職員一同、地域の皆様にお役に立てるよう精一杯努力していく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

院長 中島 宏

新年あけましておめでとうございます。
皆さまよいお年を過ごされたでしょうか。

去年は、政権交代という大きな出来事がありました。今後、医療現場に良い影響を及ぼし、患者さまが安心して医療が受けられるよう願うばかりです。

医療は業種分類でサービス業に入っております。皆さまには不快感を与えぬよう日々努力していますが、人的・物的に制限がありご不満やご不自由をおかけしていると思います。

看護職は、患者さまの一番身近に居る職種であり、ご意見・ご要望の聴き易い立場と考えております。どうぞ遠慮なく声をおかけください。

スタッフ一同患者さまが「この医院に来て良かった」と思って頂けるよう頑張っていきたいと考えておりますので、これからも宜しくお願い致します。

看護師長 三浦 百合子

